

No	品名	数	規格	形状	No	品名	数	規格	形状
①	ベース用 横通用 パイプ	12	0.6×19.1×1030 TT mm	 バラでOK	⑦	樹脂 ジョイント	2	BJ07	
②	脚用パイプ	6	0.6×19.1×1230 TTcm	 6束×1	⑧	樹脂 ジョイント	6	BJ09	
③	背面上部用 縦パイプ	3	0.6×19.1×710 TBcm	 バラでOK	⑨	パッカー	6	19Φ	
④	アーチ用 パイプ	3	0.6×19.1×1440 ATTcm	 サイクルハウスと 同じ曲げ	⑩	U字杭	4	10×24 mm	
⑤	樹脂 ジョイント	6	BJ05		⑪	通し枠	1	15cm	ネジ付き 外枠  内枠
⑥	樹脂 ジョイント	1	BJ06		⑫	専用 ビニール	1	一体加工	

スポットクーラースペース

【2506】

オールシーズン使える


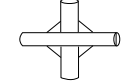
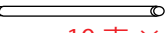
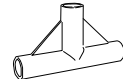
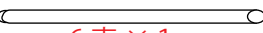
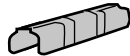
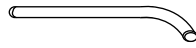


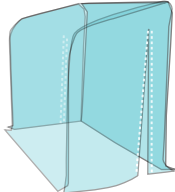


ウォーム&クーラースペース

【2510】



幅：約 180 cm
奥行：約 109 cm
高さ：約 204 cm（後方最大高さ）

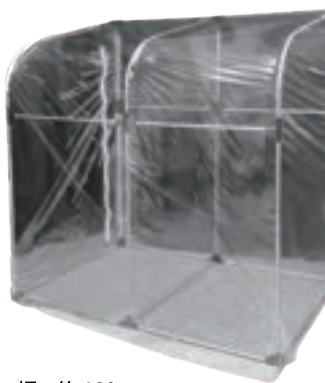
基本的には、スポットクーラースペースと同じ、構造。
* 幅が変わります。そのため横通しパイプの長さが変わります。
同じ、梱包形態（空中栽培用段ボールケース）

No	品名	数	規格	形状	No	品名	数	規格	形状
①	奥行用 パイプ	2	0.6×19.1×1030 TTcm		⑧	樹脂 ジョイント	2	BJ07	
②	横通用 パイプ	10	0.6×19.1×860 TTcm	 10束×1	⑨	樹脂 ジョイント	6	BJ09	
③	脚用パイプ	6	0.6×19.1×1230 TTcm	 6束×1	⑩	パッカー	6	19Φ	
④	背面上部用 縦パイプ	3	0.6×19.1×710 TL cm		⑪	通し枠	1	15 cm	ネジ付き 外枠  内枠
⑤	アーチ用 パイプ	3	0.6×19.1×1440 ATTcm	 サイクルハウスと 同じ曲げ	⑫	防災 ビニール タイプ幕	1	一体加工	
⑥	樹脂 ジョイント	6	BJ05						
⑦	樹脂 ジョイント	1	BJ06						

防災ビニールは、燃えないビニールではなく、燃えにくく、
燃えても、延焼が広がりにくいビニールになります。

オールシーズン使える

ウォーム&クーラースペース



幅：約 180 cm
奥行：約 109 cm
高さ：約 204 cm（後方最大高さ）

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しく使用していただくことで長持ちしますので、本品を組立てる前に部材表の裏面、『安全上のご注意』をお読みください。

[2510]

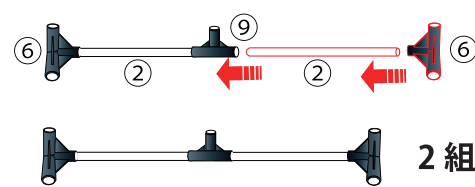
No	品名	数	規格	形状	No	品名	数	規格	形状
①	奥行用パイプ	2	103 TTcm		⑧	樹脂ジョイント	2	BJ07	
②	横通用パイプ	10	86 TTcm		⑨	樹脂ジョイント	6	BJ09	
③	脚用パイプ	6	123 TTcm		⑩	パッカー	6	19Φ	
④	背面上部用縦パイプ	3	71 TLcm		⑪	通し枠	1	15 cm	
⑤	アーチ用パイプ	3	144 ATTcm		⑫	防災ビニールタイプ幕	1	一体加工	
⑥	樹脂ジョイント	6	BJ05						
⑦	樹脂ジョイント	1	BJ06						

防災ビニールは、燃えないビニールではなく、燃えにくく、燃えても、延焼が広がりにくいビニールになります。

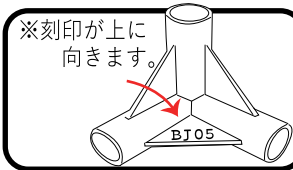
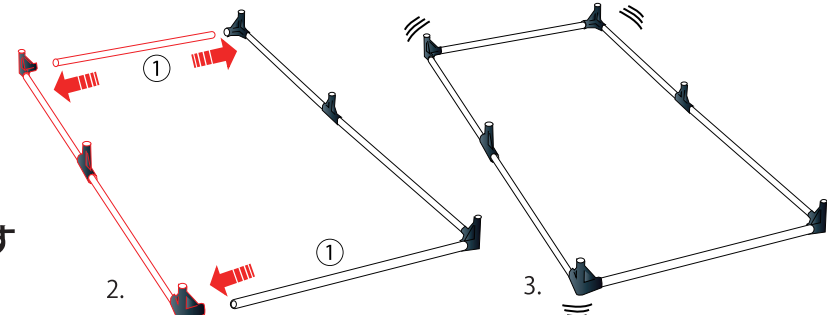


1 ベース部分を組立てます。

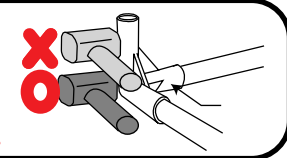
1. ②に⑥を取付け、⑨に差込み、片方のベースを組立てます。



2組 作ります



※ジョイントを各方面から、軽く叩いて、パイプを奥までしっかり差込んでください
ジョイントの上部を叩くと、破損する恐れがありますので、ご注意ください。



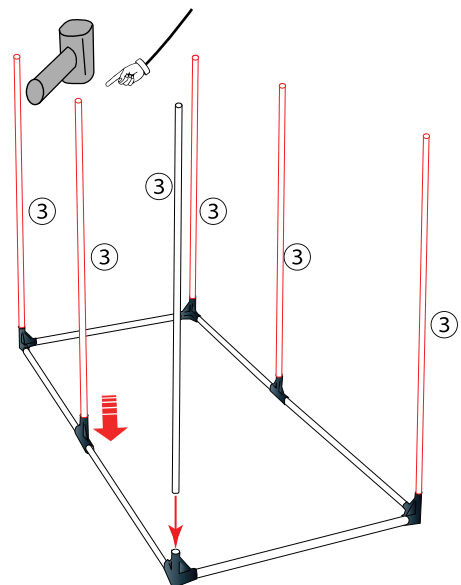
2. 組んだ各片方ベースに、①を差込んでベース部をつくります。
3. 各樹脂ジョイントに、しっかり差込まれているか確認してください。

2 ベース部分に脚パイプを建てます。

1. 組んだベース部の各ジョイントに、③を差込みます。

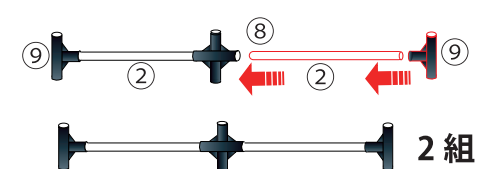
※ジョイントの奥まで、パイプをしっかり差込みます。

パイプの先が潰れないように軽く叩いてください。



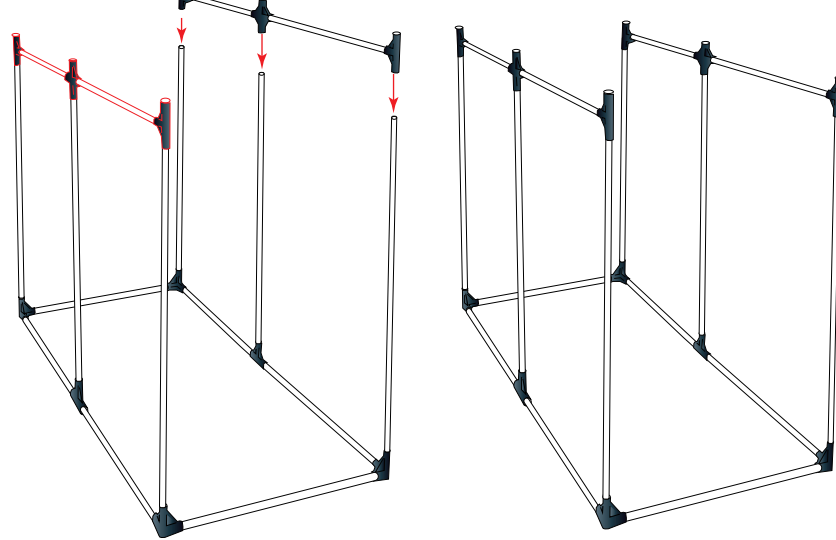
3 脚パイプに、横通しパイプを取付けます。

1. ②と、⑧⑨で、横通しパイプ部を組立てます。



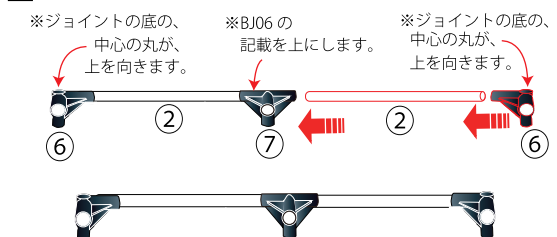
2組 作ります

2. 脚パイプが、各樹脂ジョイントの奥まで、しっかり差込まれるように取付けてください。



4 上部を組立ていきます。

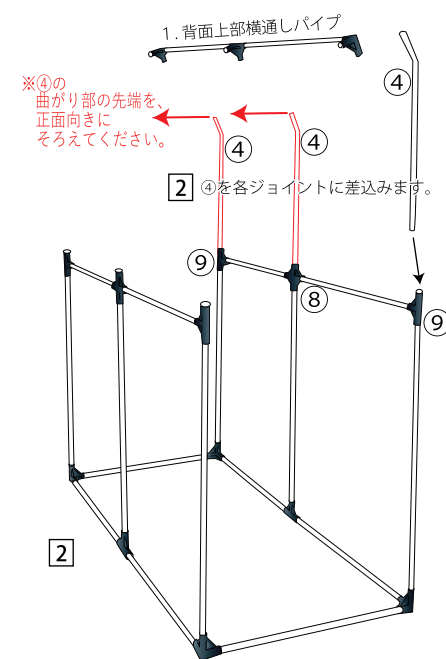
① 背面上部横通しパイプを、組立てます。



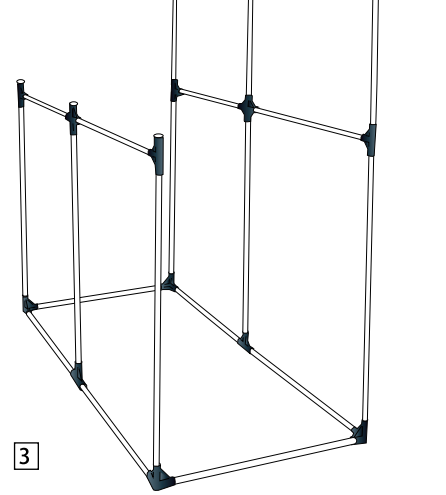
② ④背面上部用縦パイプを、後側にする方の⑧⑨に差込みます。

※④の曲がり部の先端を、正面向きにそろえてください。

③ 背面上部横通しパイプの各ジョイントに、④をしっかり奥まで差込んで、取付けてください。



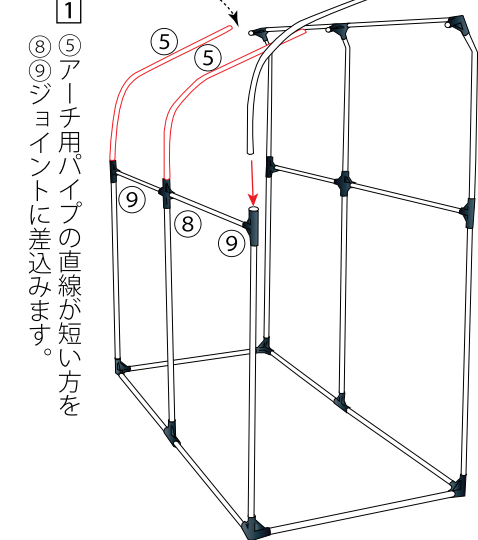
③ 背面上部横通しパイプを、取付けていきます。



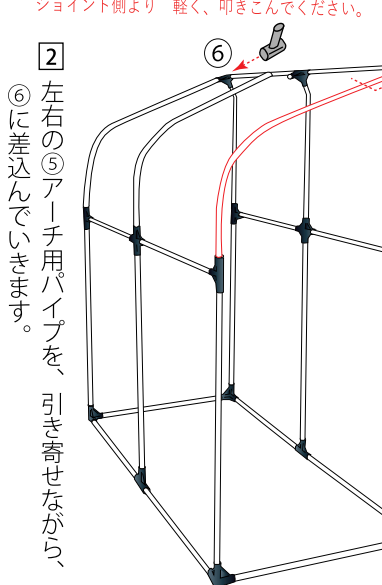
※各樹脂ジョイントに、しっかり差込まれているか、確認してください。

※⑤アーチ用パイプを取付けていきます。

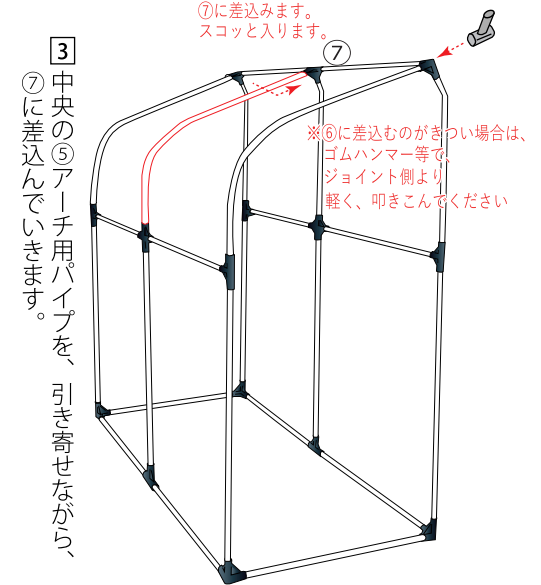
※差したままの状態ですと、ひらきがあります。



※⑥に差込むのがきつい場合は、ゴムハンマー等でジョイント側より 軽く、叩きこんでください。

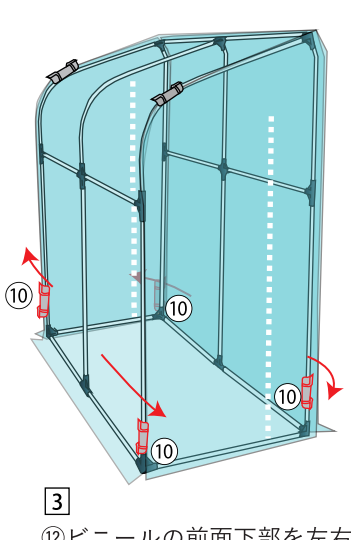
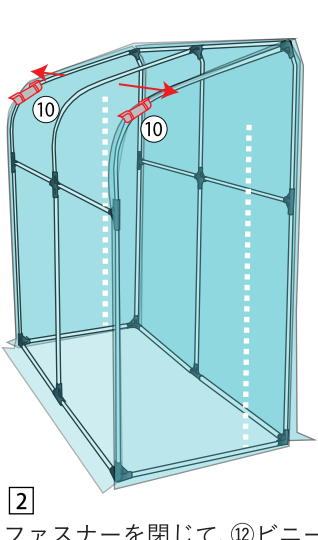
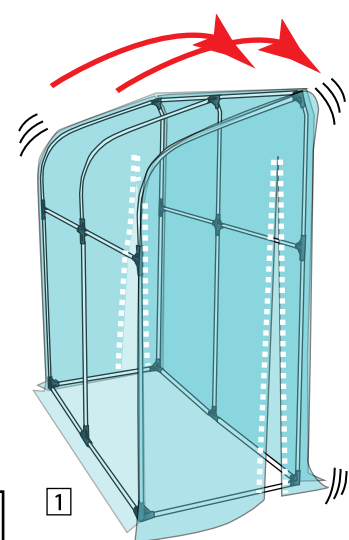
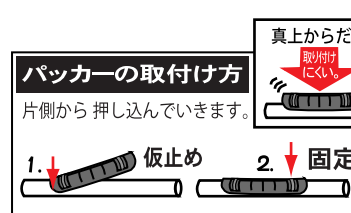
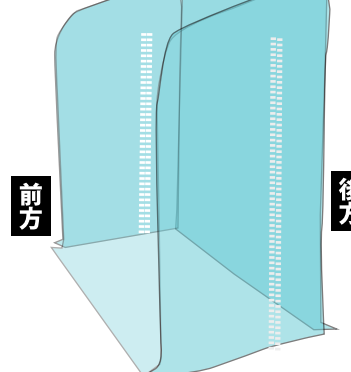


※⑤アーチを引き寄せながら、⑦に差込みます。



5 ビニールを張っていきます。 ※⑫ビニールを被せて、⑩パッカーを使い、固定してください。*

※⑫ビニールを広げ 前後を確認します*



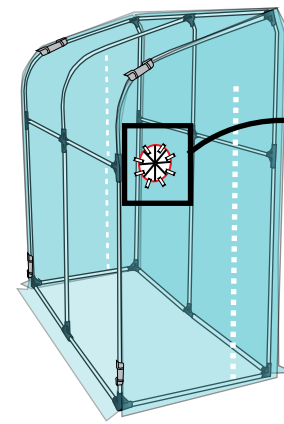
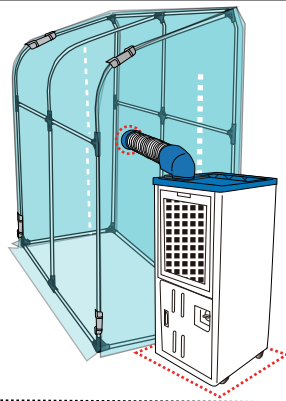
① ファスナーを開いた状態で骨組にかぶせ、全体のバランスを整えます。

② ファスナーを開いて、⑫ビニール上部を左右に引っ張り、上部の弛みをなくした状態で⑩パッカーにて、⑫ビニールをパイプに2か所、固定します。

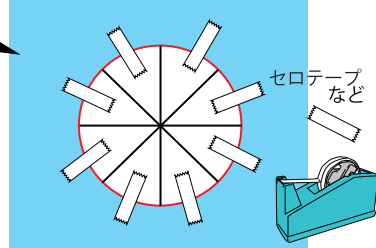
③ ⑫ビニールの前面下部を左右に引っ張り、弛みをなくした状態で、⑩パッカーで固定します。その後、後面下部も、同様に固定していきます。

ダクトホースを通す、 通し枠を設置していきます。

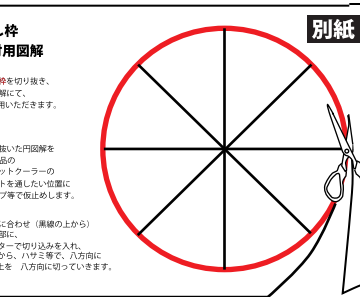
1. スポットクーラーの置き場所、ダクトホースを通す位置を決めます。



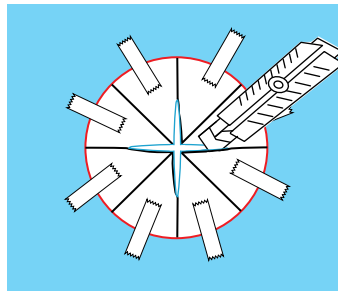
3. 切り抜いた赤丸枠紙を、事前に決めたダクトホースを通す位置にテープなどで貼り付けます。



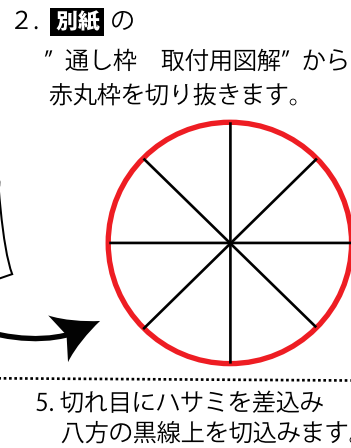
※ビニール自体には、くっつき防止のため、粉（でんぷん粉）を付着させています。粉がついたままですと、テープが付きまませんので赤丸枠を張る位置は、全体的に粉を拭き取ってください。



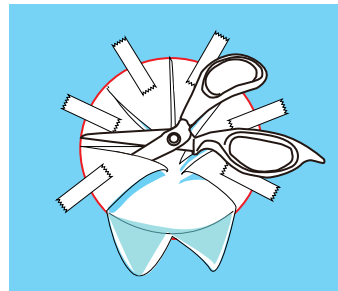
4. 黒線に合わせ、カッターなどで、中央に切れ目を作ります。



※目安としては、真ん中を、十字に 切ります。

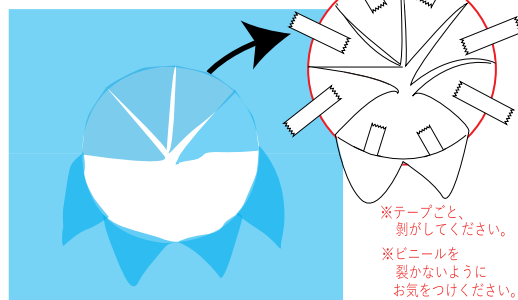


5. 切れ目にハサミを差込み 八方の黒線上を切込みます。



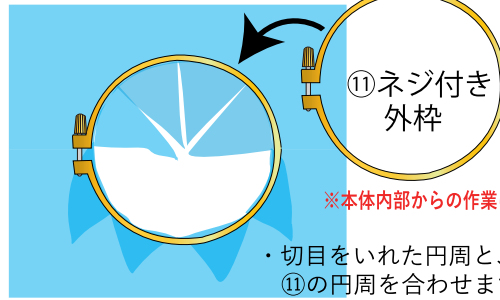
※赤丸枠に合わせ、下部のビニールごと、切ってください。

6. 赤丸枠紙を、ビニールから取り除きます。

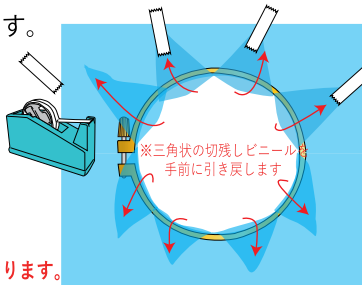


※テープごと、剥がしてください。
※ビニールを裂かないようにお気をつけください。

7. 本体内に入り、⑪のネジ付き外枠を、仮固定します。



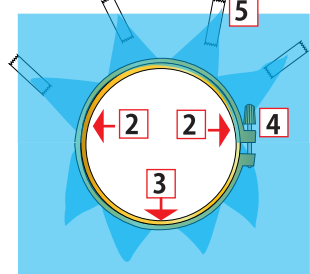
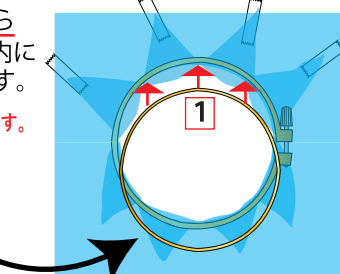
※本体内部からの作業になります。



・切り残った八方向の三角ビニールで⑪を包み、上部はテープ等で止め、⑪を仮固定していきます。

8. 再び、本体外から⑪内枠を、外枠内に組付けていきます。

※外側からの作業になります。



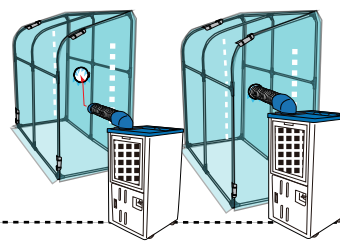
- 1 下から、上に組み込みます。
- 2 左右を組み込みます。
- 3 下部を組み込みます。
- 4 外枠のネジを締め込み固定します。
- 5 テープを剥がします。

完成です

・外枠の間に、三角ビニールを挿む形で、内枠を、組み込んでいきます

使用について

夏場は、スポットクーラーなどで、外側より外気の冷気を送り込んでください。

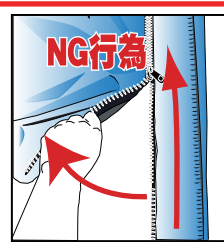
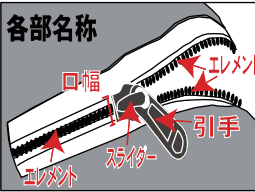


冬場は、ハロゲンヒーター・カーボンヒーターなどの **電気ストーブ** 等、電気機器を、庫内にいれ、暖房運用ください。



※防炎ビニールとは、燃えないのではなく、燃え広がりにくいビニールになりますので、火が直接当たった場合、くすぶったり、多少の変形などします。火気の取り扱いには、十分にお気をつけください。

ファスナーに關しまして



ビニールを持ち、引っ張る感じで広げて、スライダーを移動させると、スライダー部に大きな負担をあたえます。スライダー横部分に大きな負担がかかると、スライダーの口幅が広がり、エレメントを閉じる力を失います。また、分解するおそれもありますので、左図の行為は行わないでください。

専用ビニールについて

※替えビニールの単品販売もありますので、本製品をお買求めいただきました販売店様に、お問い合わせください。

※ビニール自体の、くっつき防止のため、でんぷん粉を付着させています。取付後は、拭き取っていただくと、ビニールの透明感が良くなります

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

❯禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。置いただけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先にな穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

❯禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

❯禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定ワイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

❯禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

❯禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

❯禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

❯禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

❯禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

❯禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

❯禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

❯禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

❯禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

❯禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

❯禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近すぎないようにご注意ください。

❯禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

❯禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的傷害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

❯注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

❯注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

❯注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、雪などで収納してください。

❯注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

❯注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

❯注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

❯注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

❯注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

❯注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載しておりますので大事に保管してください。

NAN-
CORPORATION



製造
発売元

南榮工業株式会社



通し枠 取付用図解

別紙

①**赤丸枠**を切り抜き、
円図解にて、
ご使用いただきます。

②切り抜いた円図解を
本製品の
スポットクーラーの
ダクトを通したい位置に
テープ等で仮止めします。

③黒線に合わせ（黒線の上から）
中央部に、
カッターで切り込みを入れ、
そこから、ハサミ等で、八方向に
黒線上を 八方向に切っていきます。

